



ひので映画大使最新版

第53回映画大使「ふしぎな岬の物語」

期 日 平成26年10月9日(木) ※試写会にて開催しました

場 所 イオンシネマ日の出

【作品紹介】

主演女優・吉永小百合さんが自ら企画したヒューマンドラマ。原作は人気作家・森沢明夫氏。

海と花に囲まれた里。そこには「岬カフェ」があり、店主の柏木悦子(吉永小百合)の淹れる一杯のコーヒーを求め、里の人間が集まってくる。そんなのどかな日常が続いていたある日、常連客の娘で嫁いで東京に出ていたみどり(竹内結子)が数年ぶりに帰郷する。さらに悦子と甥の浩司(阿部寛)を支えてきた不動産屋のタニさん(笑福亭鶴瓶)が大坂へ転勤することになり、里の暮らしが変わり始める…。



(C) 2014「ふしぎな岬の物語」製作委員会

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

▶ 映画大使の「第一声！」

☆ 吉永小百合さんはいつも素敵ですね！

☆ ロケーションが素晴らしかった！

☆ 心が暖くなる作品でしたね！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

▶ 映画大使の「映画のツボ！」

■Aさん

以前、吉永さんが主演された「北のカナリアたち」ではロードムービーの要素があり、訪れた先での人達との交流が描かれていましたが、今作はこの逆で主人公のところを訪れる人達との出会いと別れが描かれていました。構成は逆でもテーマは同じでしたね。

今回の作品は吉永さんが企画をされたという事もあるのか、一歩ひいたような感じがしました。今までの吉永作品とは少し違う雰囲気でしたが、それがまた良かったですね。

■Bさん

吉永さんが若かった頃からの作品を見続けていますが、作品での輝いた顔を見ていると、きっと私生活でも素晴らしい生き方をしているんだろうな、と思います。朗読会などでの反戦活動などもされていますね。

人の心の強さ、優しさ、温かさが凝縮された形を見た思いで、嬉しかったです。24時間、流れの早い世の中で暮らしている私達から見ると、まるで時間が止まったような自然の中での流れは、本来人間が求めている生き方なのだろうな、と思い

ます。

■Cさん

序盤は穏やかな空気が心地よかったです。終盤あたりからの、胸を掻きむしられるような、全てを奪われる哀しみや孤独が画面から伝わり、観ていてこちらも辛かったです。

自分が苦しい時、人の温もりが伝わった瞬間に視野が変わって、苦しみが解放されるのでしょうか。悦子さん(吉永小百合)が丁寧に、一生懸命生きてきたからこそ、多くの人に見守られたんだと思います。

■Dさん

私は吉永さんの映画は初めてでしたが、綺麗な方ですね。阿部寛さんも個性的な役が多いですが、本作では他の俳優さんも個性的な方が多かったせいか、阿部さんのアクの強い(個性的)なキャラがあまり前面に出ていなくて、良い調和となっていたように思いました。端役の方にも著名な俳優さんが多く出演されていたのでラストクレジットも見逃せず、まさに最初から最後まで楽しめました。

内容的にはヒューマンドラマで、最初から最後まで泣いてました！

■Eさん

阿部寛さんや鶴瓶さん、笹野高史さんは楽しい作品に出演される事が多いですが、今作でもその部分はしっかり演じられていて、キャストは裏切らないなと思いました。

後半の「岬カフェ」に関わりのある人達がいなくなるドラマ展開で急に寂しい感じになりましたが、最終的にはやはり「岬カフェ」を好きな皆に支えられていきましたよね。

心が温かくなりました。

■Fさん

観たい作品だったので楽しみでした。吉永さんと鶴瓶さんは、過去に姉弟役で競演していましたよね(「おとうと」2010年・山田洋次監督)。その2人に阿部寛さんがどう絡んでいくのか興味がありました(笑)。前半のドタバタも面白かったですね。

皆が繋がるラストは胸が熱くなりました。

■Gさん

こういう生き方もいいなって思いました。親子の関係、男女の関係、出会いや別れ、そして仲間の助け合いなど、現実にあってほしい良い繋がりを、少し現実とは離れたふしぎな世界の中で見せてくれた事で、尚更感動が広がりました。

吉永さんと鶴瓶さんの演技が良かったです！

▶ 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・ 海と花でいっぱいの景色が素晴らしかったですね。景色の良い映画を観ると、旅行に行きたくなります！
- ・ 世代によって感じ方は変わるでしょうね。
- ・ 吉永小百合さんはいつもでも若いですね。可愛らしさも感じます。
- ・ 2枚目が3枚目を演じるのも味があっていいですね。
- ・ 関西弁の笑福亭鶴瓶さんはどの役でも関西弁が多いですが、自然ですよ。
- ・ 劇中の「永遠」という言葉はいいですね。
- ・ 千葉の明鐘岬でのロケーションが良かったですね。そこに実在する喫茶店がモチーフになっているそうです。

▶ まとめ

長い映画の歴史の中で、雄大な自然を素晴らしいカメラワークで一つのシーンとして見せてくれる作品は多くあります。この作品も改めて日本の美しさを堪能させてくれる素晴らしいロケーションでした。自然はその中で繰り広げられる人間ドラマ、穏やかなシーンは勿論、不安なシーンも大きくやさしく包んでくれるようです。

観終わった後に心がほっとしました。人を思いやるというのは周りの人間の心にも響くのですね。何歳になっても思いやりの気持ちを大切にしたいと思います。そう思わせる映画でした。

是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

▶ [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

▶ [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問い合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係
電話042-597-0511(内線541)

[◀ 前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶

〒190-0192 東京都西多摩郡日の出町平井2780番地 電話 042-597-0511(代表)
Copyright © 2011 Hinode Town All Rights Reserved.

[サイトマップ](#) | [このサイトについて](#)